

令和元年度(30年度事業)公民館点検・評価シート

公民館名		秦野市立西公民館					
職員数		8名 (内訳) 再任用職員 1名 特定職員 4名 図書室 3名					
対象エリア		面積	11.0km ²	人口	15千人		
施設	開館年度	昭和48年度(旧施設は昭和31年度)		構造	RC一部鉄骨造2階建		
	延床面積	1,040.57m ²		敷地面積	1,438.00m ²		
	室名	■調理室 ■和室 ■集会室A ■集会室B ■視聴覚室 ■多目的ホール					
【単位:千円】		28年度 決算額	29年度 決算額	30年度 決算額	31年度 予算額	備考	
収入	施設使用料	1,867	2,200	2,533	2,759		
	前年度比	-4.6%	17.8%	15.1%	8.9%		
	参加者負担金	79	72	73	77		
	前年度比	-3.7%	-8.9%	1.4%	5.5%		
	軽印刷その他雑入	331	273	212	248		
	前年度比	5.8%	-17.5%	-22.3%	17.0%		
	計	2,277	2,545	2,818	3,084		
支出	活動費(0101)	180	184	129	215		
	維持管理費(0102)	5,012	5,366	5,322	6,768		
	事務費 (0103)	人件費	8,447	9,147	9,229	9,968	
		その他	536	564	454	458	
	計	14,175	15,261	15,134	17,409		
	前年度比	12.2%	7.7%	-0.8%	15.0%		
	営繕工事費(0200)						
利用状況等	指標名		28年度 実績値	29年度 実績値	30年度 実績値	31年度 目標値	備考
	利用 状況	利用者数	50,985	53,445	51,987	53,000	
		利用件数	3,411	3,465	3,687	3,700	
		利用日率	80.3%	81.0%	84.2%	85.0%	
		コマ稼働率	34.8%	35.4%	36.6%	37.0%	
	事業	事業日数	145	152	129	133	
		参加者数	6,274	7,410	6,501	7,000	
	図書 室	利用者数	4,056	3,616	3,550	3,600	
	連絡所	住民票等取扱件数	—	—	—	—	
	その他	納税取扱件数	2	0	0	0	
30年度方針		30年度の西公民館運営方針として、地域住民のために、地域のまちづくり・生涯学習の拠点及び生きがいづくりの場・出会いの場としての運営を図ると共に、災害が起こった場合の避難所としての整備に努める。また、地域連携として、西中学校コミュニティスクール推進のための事業を推進する。更に、西中学校多機能型体育館整備への円滑な移行のため関係部署との連携を図る。					
前年度改善事項		西中学校コミュニティスクールの柱の一つである「地元企業等との連携事業として英会話教室及びふれあいまつりの共同事業の充実。また、西中学校の部活動の場としての充実を図った。また、1階ロビーのレイアウトを大幅に替え、公民館利用者や地域の住民の集える場作りの整備を図った。					

事業の評価項目		自己評価	内部評価	外部評価	自己評価の主な理由
公民館運営について	公民館の運営方針を明確にしているか	4			公民館運営協議会において運営方針(案)を協議し、運営方針を決めている。また、周知のため館内掲示、ホームページに掲載している。
	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	4			公民館利用団体、公民館事業参加者、地域住民、運営協議会委員、西中学校コミュニティスクールからの意見要望を取り入れられている。
	点検評価の結果を公表しているか	4			公民館運営協議会に結果報告している。また、市のホームページに公表し、来館者等にも館内図書室で閲覧できるようにしている。
	公民館運営協議会は主体的な活動をしているか	4			年2回開催、公民館運営や自主事業の計画等に意見をいただいている。また、委員と職員との協働で自主事業を展開している。
	公民館職員の研修機会を確保しているか	3			職場内研修を実施するとともに、県公連主催の研修資料を配布及び館長会議の会議録等も報告及び接遇研修・救命講習等を行った。
	公民館運営協議会委員の研修機会を確保しているか	3			年1回の県公連主催の研修会に出席。また、公民館運営協議会においても館長等が出席した研修等の情報を提供している。
	公民館の運営全般が住民に発信されているか	4			ロビー掲示板及び西公民館ホームページ並びに渋沢駅連絡所掲示により発信。利用団体一覧表を作成し情報提供を行っている。
評価	4	4	4		
まちづくり・学習の拠点について	まちづくりの課題把握はされているのか	4			まちづくり委員会や地域団体からの情報及び西中学校コミュニティスクールと連携し、地域課題等の情報把握に努めている。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	4			公民館活動団体、地域関係団体・運営協議会、ボランティア等の協力・協働により講座の実施や公民館まつりの企画運営に携わった。
	生活・現代的課題や地域課題に関する講座を実施しているか	4			西地域高齢者支援センターとの連携により介護予防や社会問題に関する講座を実施した。また、子育て支援のための講座も実施した。
	地域の学校などと連携しているか	4			西中学校コミュニティスクール運営協議会との連携で「夏休み親子英会話教室」を実施した。また、中学校部活動の場の提供も行った。
	関係行政機関、関係団体と連携協力はできているか	4			西婦人会、西地域高齢者支援センター、青少年指導員、NPO法人、老人クラブ等と連携し公民館事業を実施している。
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	3			公民館自主事業から育ったボランティア講師等による公民館自主事業の実施や施設訪問等を行い社会参加がなされている。
	学習・地域活動グループ相互の連携が図られているか	4			公民館まつりや公民館事業を通して、関係団体や地域住民等との連携が図られた。
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	3			地域等の会議等に参加し情報の収集・提供に努めると共に公民館ホームページへの掲載、館内掲示により情報を提供している。
評価	4	4	5		
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	3			施設の老朽化、駐車場の狭隘、エレベーター無などで利用者から不満が寄せられているが、令和2年度の施設建替の説明や、明るい窓口対応をするなど、住民の不満等をカバーしている。
	利用者への対応は適切か	4			常に明るい窓口対応に心がけ、声掛けをすると共に要望等も聞くことに心がけている。
	住民が気軽に立ち寄れる環境ができているか	4			ロビーをレイアウトし、休憩場所の設置や年中行事の展示、見やすい情報提供に工夫をこらし、気軽に立ち寄れる環境づくりに努めた。
	ロビーワークなどによる関係づくりはなされているか	4			ロビーをレイアウトし、ブック展による本の紹介・貸出、年中行事の展示、サークルの作品展示により親しみあるロビーワーク作りができた。
	図書室は機能しているか	3			図書室が狭く、蔵書数も少ないため、ロビーにおいてブック展を企画したり、関連事業である「本の会」を実施し読書活動を推進した。
	施設・設備は整備されているか	3			施設老朽化をカバーするため、全室の空調機を23年に入替、舞台幕を28年度、幕を29年度に取替など、すぐに対応している。
評価	4	4	5		

評価: 5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)

自己評価	評価	評価理由(施策効果の状況や今後の方向性などについて記載)
職員	4	誰もが集える公民館運営を目指した結果、地域連携事業の一つである「西中学校コミュニティスクール」推進事業である「親子英会話教室」の充実と、新たに西中学校部活動の活動の場として公民館が使われた。また、地域・学校・公民館等が連携した「ふれあいまつり」も実施され、地域との連携が一層図られました。
内部評価	評価	評価に関する意見
運営協議会委員	4	特に評価できることは、①館長と全職員との気楽で良好な関係、②おもてなしの心で、館内の明るい雰囲気づくり、③年間の事業が計画通り着実に実施されたこと、④綿密で充実した公民館祭りの実施、⑤ロビーを活用しての読書活動の啓発、⑥新たな事業が5事業実施されたこと等をあげることができる。
外部評価	評価	評価に関する意見
社会教育委員	5	老朽化した設備の中、職員全員が利用者目線で環境整備に努めており、ロビーの雰囲気も明るくなり、限られたスペースの中でも展示等に工夫が感じられる。公民館の利用件数が増えていることから、職員の取り組みと努力が評価できる。

令和元年度(30年度事業)公民館点検・評価シート

公民館名		秦野市立南公民館					
職員数		8名 (内訳) 再任用職員 1名 特定職員 4名 図書室 3名					
対象エリア		面積	6.0km ²	人口	20千人		
施設	開館年度	昭和45年度		構造	RC一部鉄骨造2階建		
	延床面積	994.26m ²		敷地面積	1,476.45m ²		
	室名	■調理室 ■和室 ■学習室 ■視聴覚室 ■集会室 ■多目的ホール					
【単位:千円】		28年度 決算額	29年度 決算額	30年度 決算額	31年度 予算額	備考	
収入	施設使用料	1,513	1,899	2,260	2,426		
	前年度比	-11.4%	25.5%	19.0%	7.3%		
	参加者負担金	14	18	24	13		
	前年度比	100.0%	28.6%	33.3%	-45.8%		
	軽印刷その他雑入	276	249	264	285		
	前年度比	-8.0%	-9.8%	6.0%	8.0%		
	計	1,803	2,166	2,548	2,724		
支出	活動費(0101)	442	232	245	235		
	維持管理費(0102)	5,155	5,530	5,963	6,013		
	事務費 (0103)	人件費	8,383	8,934	8,980	9,968	
		その他	519	498	540	443	
	計	14,499	15,194	15,728	16,659		
	前年度比	5.1%	4.8%	3.5%	5.9%		
	営繕工事費(0200)	1,437	0	10,516	0		
利用状況等	指標名		28年度 実績値	29年度 実績値	30年度 実績値	31年度 目標値	備考
	利用 状況	利用者数	46,816	50,853	49,462	50,000	
		利用件数	2,828	3,202	3,512	3,600	
		利用日率	71.8%	77.1%	80.5%	81.0%	
		コマ稼働率	27.7%	32.7%	34.2%	35.0%	
	事業	事業日数	171	167	175	179	
		参加者数	7,170	6,960	6,395	6,500	
	図書 室	利用者数	6,540	6,504	6,273	6,300	
	連絡所	住民票等取扱件数					
その他	納税取扱件数	13	6	9			
30年度方針		地域の生涯学習の拠点として、地域で活動する団体と連携して事業運営をするとともに、サークル活動を支援し、地域の活性化を図る。					
前年度改善事項		公民館まつりにおいて、開会式の会場を屋外駐車場から多目的ホールに変更することにより、天候に左右されず、多くの参加者の前で開会式を開催することができた。また、声かけにより、公民館まつりに新規団体の参加が得られた。					

事業の評価項目		自己評価	内部評価	外部評価	自己評価の主な理由
公民館運営について	公民館の運営方針を明確にしているか	5			運営方針を館内に掲示するとともに、ホームページに公表している。
	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	4			公民館運営協議会、利用者説明会、窓口等で、住民の意見を取り入れている。
	点検評価の結果を公表しているか	3			公民館運営協議会に報告するとともに、ホームページに公表している。
	公民館運営協議会は主体的な活動をしているか	4			年3回会議を開催し、協議・検討、意見交換、情報交換等を行った。
	公民館職員の研修機会を確保しているか	4			職場内研修を実施するとともに、市主催の接遇研修や県公連主催の研修会に参加した。
	公民館運営協議会委員の研修機会を確保しているか	2			自主事業に参加し、体験研修をしていただくとともに、県公連主催の研修会等の情報提供をした。
	公民館の運営全般が住民に発信されているか	5			自主事業等はポスター等を掲示するとともに、館報やホームページに掲載し、地域に発信している。
評価		4	4	4	
まちづくり・学習の拠点について	まちづくりの課題把握はされているのか	5			地区別市政懇談会、まちづくり委員会、子どもを育む協議会等で、地域課題を把握し、連携して課題に取り組んだ。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	5			公民館まつり実行委員会を組織して開催するとともに、個々の事業に、講師や共催者として住民や関係団体が参加した。
	生活・現代的課題や地域課題の関する講座を実施しているか	5			伝承行事、介護予防、子育て支援、環境問題、子ども向け等の講座を全51講座開催した。
	地域の学校などと連携しているか	5			中学校区子どもを育む協議会等で連携するとともに、幼・こ・小・中学校が公民館まつりに参加した。
	関係行政機関、関係団体と連携協力はできているか	5			学校、自治会、婦人会、体協、青少年育成団体等と事業を通じて連携協力した。
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	3			公民館まつりで、学習成果の発表が図られ、また、利用団体が老人ホームを慰問した。
	学習・地域活動グループ相互の連携が図られているか	4			公民館まつり実行委員会を組織して自主的に運営するとともに、一部事業では相互連携が図られた。
幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	4			館報、ホームページ等により、情報提供した。また、活動団体を紹介するなど学習相談に応じた。	
評価		5	5	4	
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	3			エレベーターが無い点や駐車台数が少ない点があるが、概ね良好である。
	利用者への対応は適切か	5			あいさつ・笑顔・公平・親切・丁寧な対応に努めている。
	住民が気軽に立ち寄れる環境ができているか	3			親切・丁寧な対応を心がけ、気軽に立ち寄れる環境づくりに努めている。
	ロビーワークなどによる関係づくりはなされているか	4			窓口での声かけ等による指導者の発掘やロビーに雛飾り、武者飾り、七夕飾り等を展示し、来館者との交流を図っている。
	図書室は機能しているか	5			ロビーに塗り絵コーナーを設けたり、テーマによりお薦め本を展示するなど読書活動推進等に努めている。
	施設・設備は整備されているか	3			外壁改修工事、音響設備修繕、舞台袖手摺り設置等を実施し、安全・快適に利用できるように努めた。
評価		4	4	4	

評価：5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)

自己評価	評価	評価理由(施策効果の状況や今後の方向性などについて記載)
職員	4	公民館まつりの開会式の会場を変更したり、新規の講座を開設するなど、事業の見直しを実施した。また、地域の伝承行事を後世に伝えるための事業を実施した。今後も、地域の人々が気軽に集い、学べるような使い勝手の良い公民館を目指していく。
内部評価	評価	評価に関する意見
運営協議会委員	4	公民館まつりの開催内容の改善、社会のニーズに応じた講座の新設、伝承行事の継続等地域の生涯学習の拠点として、しっかりと機能している。また、職員の対応も親切・丁寧でアットホームな雰囲気があって、立ち寄りやすい。
外部評価	評価	評価に関する意見
社会教育委員	4	一つの事業に対し、職員全員で取り組んでいる姿勢が評価できる。公民館事業日数も8日増えるなど、職員の努力が数字に現れた。特に南地区特有の伝承行事への取り組みは、子どもたちへの財産として、今後も継続してもらいたい。

令和元年度(30年度事業)公民館点検・評価シート

公民館名		秦野市立北公民館					
職員数		8名 (内訳) 再任用職員 1名 特定職員 4名 図書室 3名					
対象エリア		面積	20.0km ²	人口	13千人		
施設	開館年度	平成12年度		構造	RC一部鉄骨造2階建		
	延床面積	1,493.25m ²		敷地面積	2,712.32m ²		
	室名	■調理室 ■創作活動室 ■和室 ■音楽室 ■集会室 ■多目的ホール					
【単位:千円】		28年度 決算額	29年度 決算額	30年度 決算額	31年度 予算額	備考	
収入	施設使用料	2,046	2,317	2,688	3,242		
	前年度比	1.9%	13.2%	16.0%	20.6%		
	参加者負担金	57	72	91	70		
	前年度比	-8.1%	26.3%	26.4%	-23.1%		
	軽印刷その他雑入	349	271	333	234		
	前年度比	-12.8%	-22.3%	22.9%	-29.7%		
	計	2,452	2,660	3,112	3,546		
支出	活動費(0101)	800	784	784	785		
	維持管理費(0102)	7,827	8,502	8,205	8,071		
	事務費 (0103)	人件費	8,463	9,202	9,381	9,852	
		その他	435	862	373	339	
	計	17,525	19,350	18,743	19,047		
	前年度比	13.8%	10.4%	-3.1%	1.6%		
	営繕工事費(0200)	1,210		37,300	4,100		
利用状況等	指標名		28年度 実績値	29年度 実績値	30年度 実績値	31年度 目標値	備考
	利用 状況	利用者数	46,673	45,275	43,464	46,000	
		利用件数	3,184	2,950	2,863	3,300	
		利用日率	81.0%	80.2%	80.5%	85.0%	
		コマ稼働率	35.7%	33.0%	34.7%	40.0%	
	事業	事業日数	102	108	114	110	
		参加者数	4,642	4,286	6,338	6,300	
	図書 室	利用者数	4,791	4,325	3,702	4,300	
	連絡所	住民票等取扱件数	4,533	4,359	4,397	4,800	
	その他	納税取扱件数	9	11	12	10	
30年度方針		<ul style="list-style-type: none"> ・公民館事業を通して生涯学習活動を推進する。 ・地域、学校、利用者団体等との連携により地域の拠点化を目指すとともに、安全で快適な施設の運営に努める。 					
前年度改善事項		<ul style="list-style-type: none"> ・施設の修繕や物品の更新、LED化等に積極的に取り組んだ。 					

		自己評価	内部評価	外部評価	自己評価の主な理由
公民館運営について	公民館の運営方針を明確にしているか	4			運営方針を定め、職員に周知徹底し業務を円滑に展開・推進した。
	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	4			運営協議会や利用者団体、講座アンケート等の意見を反映させながら事業を実施した。
	点検評価の結果を公表しているか	3			市ホームページで公開した。
	公民館運営協議会は主体的な活動をしているか	4			公民館の事業、運営等に参画し、協議会として主体的にその役割を果たした。
	公民館職員の研修機会を確保しているか	4			接遇研修やシステム操作研修等を受講するとともに、施設の維持・管理等に係る職場研修を積極的に実施した。
	公民館運営協議会委員の研修機会を確保しているか	3			研修会への案内や行政情報の提供、意見交換の場を設けるなどにより、研修の機会を確保した。
	公民館の運営全般が住民に発信されているか	4			自治会回覧(年6回)や児童館、小学校への情報提供、公民館見学会等により情報を発信している。
	評価	4	4	4	
まちづくり・学習の拠点について	まちづくりの課題把握はされているのか	4			北地区まちづくり委員会や北の子どもを育む懇談会等と連携し、地域課題の把握に取り組んだ。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	4			地域の公共的団体や施設利用団体等から意見を募り、講座や公民館まつり等の事業に反映させた。
	生活・現代的課題や地域課題に関する講座を実施しているか	4			子育て支援や住民の交流の場の確保、退職後の生きがいづくり、環境保護等をテーマとした48事業を実施した。
	地域の学校などと連携しているか	4			公民館や学校の行事、子供の見守り活動等を通して、地域や学校、PTAとの連携を図った。
	関係行政機関、関係団体と連携協力はできているか	4			関係団体等の活動拠点として、また利用者や地域住民への情報提供の場として事業を展開した。
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	3			公民館利用団体が、公民館まつりや芸能まつりに日ごろの成果を発表するなどして社会参加を図った。
	学習・地域活動グループ相互の連携が図られているか	4			公民館まつりの運営や避難訓練、施設の清掃等への参加を促すなど、団体間の連携がより密となるよう努めた。
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	4			館報や市ホームページ、地方紙、タウン誌等を活用して情報を提供するとともに、活動内容等の問い合わせ及び連絡調整等の対応を行った。
	評価	4	4	4	
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	3			近隣住民や利用者等からの要望、苦情等に迅速に対応し、施設に対する満足度の向上に努めた。
	利用者への対応は適切か	4			安全かつ快適な施設を維持するとともに、来館者には親切、丁寧な対応で臨んでいる。
	住民が気軽に立ち寄れる環境ができているか	4			施設や駐車場の維持管理はもとより、来館者への積極的な声掛けなど、親しみ易い雰囲気づくりを推進した。
	ロビーワークなどによる関係づくりはなされているか	4			WiFiの導入や、掲示スペース、共有空間を確保するなど、情報提供や利便性の向上を図った。
	図書室は機能しているか	4			年間100冊以上の本を読んだ児童に表彰を行うなど、児童を中心とした読書推進活動を行っている。
	施設・設備は整備されているか	4			設備の修理等のもとより駐車場などの維持・管理等にも迅速に対応した。
	評価	4	4	4	
評価: 5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)					
自己評価	評価	評価理由(施策効果の状況や今後の方向性などについて記載)			
職員	4	関係団体との協力・連携により、幼児や子供を対象とするものからシルバー世代に向けたものまで、年間延べ114の講座を開催した。特に、地域の史跡を訪ねたり正月飾りの作り方を学ぶなど、講座を介して北地区の魅力を伝えることができた。また、安全で快適な環境を維持するため、施設の維持管理に努めた。			
内部評価	評価	評価に関する意見			
運営協議会委員	4	各項目については概ね目標を達成している。更に主管課である生涯学習課と連携して、敷地内に地区まちづくり委員会等公益団体の備品倉庫置き場を確保する目処をつけた。このことについては、主管課の政策的判断とともに、実現に向けた公民館の対応を高く評価し感謝するものである。			
外部評価	評価	評価に関する意見			
社会教育委員	4	市の中心から離れ人口も少ない地域の中で、職員全員が知恵を絞り、公民館事業に取り組み、その結果として、事業日数及び参加者数が増加している点は評価できる。来館者に対しても笑顔と親切な対応を心掛けており、運営方針が徹底されている。			

令和元年度(30年度事業)公民館点検・評価シート

公民館名		秦野市立大根公民館					
職員数		9名 (内訳) 再任用 1名 特定職員 5名 図書室 3名					
対象エリア		面積	6.0km ²	人口	26千人		
施設	開館年度	昭和54年度		構造	RC一部鉄骨造2階建		
	延床面積	1,136.14m ²		敷地面積	1,587.03m ²		
	室名	■多目的ホール ■集会室 ■学習室 ■和室 ■調理室					
【単位:千円】		28年度 決算額	29年度 決算額	30年度 決算額	31年度 予算額	備考	
収入	施設使用料	2,409	2,864	3,403	3,079		
	前年度比	9.7%	18.9%	18.8%	-9.5%		
	参加者負担金	174	169	173	98		
	前年度比	-3.9%	-2.9%	2.4%	-43.4%		
	軽印刷その他雑入	273	248	212	276		
	前年度比	-23.1%	-9.2%	-14.5%	30.2%		
	計	2,856	3,281	3,788	3,453		
支出	活動費(0101)	196	207	179	170		
	維持管理費(0102)	6,405	7,164	7,636	7,012		
	事務費 (0103)	人件費	10,364	12,629	11,216	11,637	
		その他	426	454	454	445	
	計	17,391	20,454	19,485	19,264		
	前年度比	17.1%	17.6%	-4.7%	-1.1%		
	営繕工事費(0200)	0	20,570	0	4,000		
利用状況等	指標名		28年度 実績値	29年度 実績値	30年度 実績値	31年度 目標値	備考
	利用 状況	利用者数	45,787	42,523	41,304	42,000	
		利用件数	2,886	2,919	2,898	2,900	
		利用日率	80.8%	83.1%	84.7%	83.0%	
		コマ稼働率	38.4%	38.0%	38.4%	38.0%	
	事業	事業日数	83	88	79	80	
		参加者数	4,812	2,888	3,083	3,000	平成29年度から公民館まつりを1日開催に変更
	図書室	利用者数	9,548	9,311	9,092	9,100	
	連絡所	住民票等取扱件数	5,837	5,318	4,980		
	その他	納税取扱件数	31	15	14		
	30年度方針		生涯学習活動の地域の拠点として認識されるよう、地域との連携を重視した事業展開を図るとともに、窓口対応では、笑顔・親切・丁寧をモットーに市民の方に接する。				
前年度改善事項		老朽化した施設の維持改善に努めた。					

事業の評価項目		自己評価	内部評価	外部評価	自己評価の主な理由
公民館運営について	公民館の運営方針を明確にしているか	5			運営方針を定め、ホームページに掲載し、幅広く周知している
	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	3			利用者説明会やアンケート調査を行い、意見や要望等の反映に努めている。
	点検評価の結果を公表しているか	3			公民館運営協議会への報告やホームページで公表している。
	公民館運営協議会は主体的な活動をしているか	4			公民館運営協議会を年3回開催、委員からも公民館運営について建設的な意見をいただいている。
	公民館職員の研修機会を確保しているか	3			庁内研修に参加するとともに、常に職場内での自己研鑽に努めている。
	公民館運営協議会委員の研修機会を確保しているか	3			県公民館連絡協議会主催の研修会に参加している。
	公民館の運営全般が住民に発信されているか	4			幼稚園児の見学や中学生の職場体験の受け入れのほか、館報やホームページで情報発信して
	評価	4	4	4	
まちづくり・学習の拠点について	まちづくりの課題把握はされているのか	3			公民館運営協議会や利用者等から情報を収集し、課題把握とその解決に努めた。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	3			実行委員会方式による事業や利用者団体と協力して事業を展開した。
	生活・現代的課題や地域課題に関する講座を実施しているか	3			公民館運営協議会やアンケート等により課題を捉え事業に反映した。
	地域の学校などと連携しているか	3			大学がある地域特性を生かし、学生との連携・協力のもと自主事業を実施している。
	関係行政機関、関係団体と連携協力はできているか	3			地区社協や介護支援センターなどと連携して事業を実施した。
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	3			年間を通して、健康体操を開催しているが、継続参加者が多く、健康への意識付けがなされている。
	学習・地域活動グループ相互の連携が図られているか	3			公民館まつり等の実施に当たり、多くの団体が参画する実行委員会の中で相互の連携を図っている。
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	3			公民館報を年6回発行するとともに、ホームページは毎月1回以上更新している。
評価	3	4	3		
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	3			現状の利用方法については、概ね満足していただいている。
	利用者への対応は適切か	4			迅速・公平・的確な対応を心がけている。
	住民が気軽に立ち寄れる環境ができているか	3			職員一同が明るく笑顔で対応するよう努めている。
	ロビーワークなどによる関係づくりはなされているか	4			窓口での大学生への声かけなどの働きかけから関係を築き、新たな事業に結びつけることができた。
	図書室は機能しているか	4			新たに書棚を設置し、利用者の利便性を高めるとともに、子ども読書活動事業を推進した。
	施設・設備は整備されているか	3			空調設備の点検など利用者が、安全・安心に利用できるよう施設の維持に努めた。
	評価	4	4	4	
評価：5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)					
自己評価	評価	評価理由(施策効果の状況や今後の方向性などについて記載)			
職員	4	地域の生涯学習拠点として、学生や利用団体等との連携事業にも取り組めた。また、公民館運営協議会で提案された現代的課題の講座には、多くの参加者を得ることができた。施設が老朽化している中、利用者が快適に利用できるよう維持管理に努めていきたい。			
内部評価	評価	評価に関する意見			
運営協議会委員	4	自治会や地域の関係団体をはじめ、大学、園、小中学校などとの連携を図り、効果的に事業を展開している点は評価できる。厳しい財政状況の中、細かな備品類については地域の力に働きかけることも必要と思われる。高齢者や障がい者だけでなく、ベビーカーを使う子育て世代にも利用しやすい施設として、エレベーターの設置は不可欠であり、早急な整備が求められる。			
外部評価	評価	評価に関する意見			
社会教育委員	4	老朽化した施設の維持管理に対し、苦勞されているのが伝わってくる。この地域ならではの事業や取り組み、特に大学生を巻き込むような事業展開をさらに工夫すれば大きな特色となる。点検内容はここ数年変化が見られず、職員全員で公民館を盛り上げてもらいたい。			

令和元年度(30年度事業)公民館点検・評価シート

公民館名		秦野市立東公民館					
職員数		8名 (内訳) 再任用職員 1名 嘱託職員 4名 図書室 3名					
対象エリア		面積	29.0km ²	人口	15千人		
施設	開館年度	昭和56年度		構造	RC造2階建		
	延床面積	1,063.86m ²		敷地面積	2,424.60m ²		
	室名	■集会室A ■集会室B ■和室 ■調理室 ■多目的ホール ■小和室					
【単位:千円】		28年度 決算額	29年度 決算額	30年度 決算額	31年度 予算額	備考	
収入	施設使用料	1,162	1,580	1,713	1,575		
	前年度比	8.5%	36.0%	8.4%	-8.1%		
	参加者負担金	147	165	183	98		
	前年度比	65.2%	12.2%	10.9%	-46.4%		
	軽印刷その他雑入	308	359	312	354		
	前年度比	-2.8%	16.6%	-13.1%	13.5%		
	計	1,617	2,104	2,171	2,027		
支出	活動費(0101)	315	257	271	235		
	維持管理費(0102)	5,847	6,667	7,551	6,876		
	事務費 (0103)	人件費	8,995	8,875	9,078	9,968	
		その他	467	564	597	422	
	計	15,624	16,363	17,499	17,501		
	前年度比	13.2%	4.7%	6.9%	0.0%		
	営繕工事費(0200)	1,493	0	0	31,350		
利用状況等	指標名		28年度 実績値	29年度 実績値	30年度 実績値	31年度 目標値	備考
	利用 状況	利用者数	35,696	36,725	35,581	37,000	
		利用件数	2,134	2,206	2,158	2,250	
		利用日率	65.5%	65.5%	67.1%	66.0%	
		コマ稼働率	24.4%	25.1%	24.3%	26.0%	
	事業	事業日数	88	99	99	100	
		参加者数	4,549	4,976	6,278	5,000	
	図書 室	利用者数	4,390	4,641	4,182	4,700	
	連絡所	住民票等取扱件数	4,629	4,177	3,967	—	
	その他	納税取扱件数	2	5	4	—	
31年度方針		地域の諸団体や地域人材との連携を強化し、地域の拠点としての公民館活動の充実を図る。また、通年会館及び少人数職場として、施設の安定的な運営及び様々なリスク管理に考慮した上で、必要な事業実施に努める。					
前年度改善事項		夏休み期間中に子供を対象とした体験事業の充実を図るとともに、新たな取り組みとして、科学遊びの視点を取り入れた事業を実施した。					

事業の評価項目		自己評価	内部評価	外部評価	自己評価の主な理由
公民館運営について	公民館の運営方針を明確にしているか	5			東公民館運営方針を作成し、運営方針に基づき公民館事業を展開した。同方針を館内に掲示し、HP上でも公開した。
	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	4			利用者説明会を開催し意見を聞くとともに、地域の諸団体との連携事業並びに、住民からの提案型事業に取り組んだ。
	点検評価の結果を公表しているか	3			点検評価の結果は、公民館運営協議会に報告し、ホームページで公表した。
	公民館運営協議会は主体的な活動をしているか	3			年2回会議を開催し、公民館の点検評価や運営、自主事業の計画等に意見をいただいた。
	公民館職員の研修機会を確保しているか	4			県公連等の研修会をはじめ、救命救急講習、接遇研修等に参加した
	公民館運営協議会委員の研修機会を確保しているか	3			県公連等の研修会に参加した
	公民館の運営全般が住民に発信されているか	5			広報、館報、HP、館内チラシ、タウン紙等での情報発信に努めた
	評価	4	5	4	
まちづくり・学習の拠点について	まちづくりの課題把握はされているのか	4			地区懇談会に出席するとともに、まちづくり委員会や地元団体等からの情報収集により、課題等を積極的に把握するよう努めた
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	5			地域の諸団体との連携、地域人材の活用を進めた
	生活・現代的課題や地域課題に関する講座を実施しているか	5			子どもの体験活動の場の提供をはじめ、地域課題に対応した事業の実施に努めた
	地域の学校などと連携しているか	4			幼稚園・小学校・中学校を中心に、公民館まつりへの参加や自主事業の周知等に協力していただいた。また、こどもを育む会で連携した。
	関係行政機関、関係団体と連携協力はできているか	5			他の公民館、市役所各課、地域団体等と連携した事業の実施に努めた。
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	5			公民館並びに自主的な学習の成果を、公民館事業や地域活動の場において発揮できる機会の提供に努めた。
	学習・地域活動グループ相互の連携が図られているか	4			公民館活動団体と連携した事業の実施に努めた
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	4			情報の提供、相談に応じられる体制が整っている
評価	5	5	4		
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	3			利用者との積極的なコミュニケーションにより、サービスの提供を行っており特に苦情は発生していない
	利用者への対応は適切か	5			明るい対応に心がけるとともに、様々な機会をとらえ、要望等を聞くことを心掛けている。
	住民が気軽に立ち寄れる環境ができていますか	3			玄関ロビーへの休憩場所の設置や各種情報の展示用台を手作りで設置し情報提供の仕方を工夫した。
	ロビーワークなどによる関係づくりはなされているか	3			新たなボランティア指導者を発掘した。また、写真展、作品展などを実施し、各団体の交流の場としている
	図書室は機能しているか	4			「私の一押し！」コーナーの設置や企画展の開催により利用者の増加を図った
	施設・設備は整備されているか	4			空調機器の更新、トイレの改修のための準備を行った
	評価	4	4	4	
評価：5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)					
自己評価	評価	評価理由(施策効果の状況や今後の方向性などについて記載)			
職員	4	夏休みの子ども達の体験活動及び科学体験事業を実施し、青少年の健全育成、家庭教育の充実に努めた。今後は、これまでの成果を踏まえつつ、地域の諸団体や地域人材との連携に努め、地域活動及びまちづくりの拠点としての公民館活動を進めていきたい。			
内部評価	評価	評価に関する意見			
運営協議会委員	5	施設利用者への対応が適切で気持ちよく利用できる。また、自主事業が充実しており、地域の子育て団体等との連携が十分図られている。			
外部評価	評価	評価に関する意見			
社会教育委員	4	子ども対象の事業に力を注ぎ、工夫がされている点は評価できる。公民館事業への参加者数が大幅に増えたのは、募集方法や内容などへの創意工夫が実を結んだ成果と思う。地域住民が協力的な地域なので、今後も地域と連携した事業展開に期待する。			

令和元年度(30年度事業)公民館点検・評価シート

公民館名		秦野市立鶴巻公民館					
職員数		9名 (内訳) 再任用職員 1名 特定職員 5名 図書室 3名					
対象エリア		面積	2.4km ²	人口	15千人		
施設	開館年度	平成2年度		構造	RC一部鉄骨造地上2階地下1階建		
	延床面積	1,369.46m ²		敷地面積	1,936.09m ²		
	室名	■調理室 ■創作活動室 ■音楽室 ■和室 ■コミュニティ室 ■多目的ホール					
【単位:千円】		28年度 決算額	29年度 決算額	30年度 決算額	31年度 予算額	備考	
収入	施設使用料	2,179	2,891	3,606	3,048		
	前年度比	0.3%	32.7%	24.7%	-15.5%		
	参加者負担金	102	62	17	88		
	前年度比	131.8%	-39.2%	-72.6%	417.6%		
	軽印刷その他雑入	206	188	241	229		
	前年度比	-20.8%	-8.7%	28.2%	-5.0%		
	計	2,487	3,141	3,864	3,365		
支出	活動費(0101)	451	123	125	202		
	維持管理費(0102)	6,955	7,688	6,911	7,942		
	事務費 (0103)	人件費	8,352	10,881	11,279	11,523	
		その他	419	417	370	435	
	計	16,177	19,109	18,685	20,102		
	前年度比	-0.3%	18.1%	-2.2%	7.6%		
	営繕工事費(0200)	0	0	0	0		
利用状況等	指標名		28年度 実績値	29年度 実績値	30年度 実績値	31年度 目標値	備考
	利用 状況	利用者数	41,156	42,837	44,194	45,000	
		利用件数	3,672	3,768	3,403	3,500	
		利用日率	78.7%	78.3%	74.5%	78.0%	
		コマ稼働率	34.0%	34.3%	30.1%	34.0%	
	事業	事業日数	23	28	32	43	
		参加者数	4,156	3,948	3,791	4,000	
	図書 室	利用者数	12,040	11,707	10,692	11,000	
	連絡所	住民票等取扱件数	7,695	7,250	4,135	-	
	その他	納税取扱件数	60	15	38	-	
30年度方針		生涯学習の拠点として、高齢者が自分らしく活動する場や小学生等が気軽に利用できるよう地域の協力を得ながら活動を実施するとともに、防災、減災対策について、「地域は地域で守る」意味でも公民館を拠点とした街づくりを目標とする。					
前年度改善事項		ボランティア講師による企画提案方式の導入を図るとともに、他館の自主事業を参考に新たな事業に取り組んだ(9事業を新たに実施)。					

事業の評価項目		自己評価	内部評価	外部評価	自己評価の主な理由
公民館運営について	公民館の運営方針を明確にしているか	4			運営協議会で方針を報告するとともに、その方針に沿って、防災(水害)学習事業を実施し、安心・安全の地域を目指した。
	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	4			ボランティア講師を募集して、住民の意向を把握し、事業を実施するとともに受講者に対しアンケートを実施し、今後の事業の参考とした。
	点検評価の結果を公表しているか	4			評価をホームページで公表した。
	公民館運営協議会は主体的な活動をしているか	3			年2回会議を開催し、積極的な意見交換を行っている。
	公民館職員の研修機会を確保しているか	4			市人事課による接遇訓練やAEDの研修を行うとともに県主催の公民館担当者コースの研修に参加した。
	公民館運営協議会委員の研修機会を確保しているか	4			県公連主催に研修会に委員2名が参加した。
	公民館の運営全般が住民に発信されているか	4			公民館事業をホームページで周知するとともに近隣の小中及びこども園職員の見学・職場体験の受け入れを行っている。
評価	4	4	4		
まちづくり・学習の拠点について	まちづくりの課題把握はされているか	4			自治会や学校と連携し、地域の子どもを育む会などを通じて地域の課題に努めている。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	4			関係団体・ボランティア等の協力・協働により講座等の実施し、公民館まつりは、実行委員会により企画運営を行った。
	生活・現代的課題や地域課題の関する講座を実施しているか	5			秦野市防災アドバイザーの協力を得て、防災等についての講習会を増回し、意識向上を図った。
	地域の学校などと連携しているか	4			鶴巻中学校区の子どもを育む会に参加し、学校での課題を把握し、情報の共有化を図った。
	関係行政機関、関係団体と連携協力はできているか	4			鶴巻中学校区の子どもを育む会において、関係行政団体や自治会などとの連携や情報の共有を図った。
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	4			事業終了後、自主的な学習団体として組織化することができた。
	学習・地域活動グループ相互の連携が図られているか	3			公民館まつりなどに加え、ちびっこ広場など一部の公民館事業においても地域の団体等との連携を図った。
幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	3			「広報はだの」「利用団体一覧表」を作成するとともに夏休みの事業については、小学校やこども園へ情報提供した。	
評価	4	4	4		
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	4			住民と利用団体との良好な関係が築かれており、特に苦情等は入っていない。
	利用者への対応は適切か	4			笑顔で接するとともに公平、公正な対応をしている。
	住民が気軽に立ち寄れる環境ができているか	3			館全体で「声掛け」の励行など気軽に利用できる雰囲気づくりに努めている。
	ロビーワークなどによる関係づくりはなされているか	4			防災アドバイザーによる地震等の対応や絵画展や小学生の手紙などを掲示し、各団体の交流を図っている。
	図書室は機能しているか	4			図書館から距離が離れていることから、多くの住民の方に利用されている。また、新着図書を入りに配置し、利用者の利便性を高めた。
	施設・設備は整備されているか	4			老朽化による施設の不備の面があるが、2階に手摺を設置するなど安全の利用できるよう普段から施設管理・維持に努めている。
評価	4	4	4		
評価：5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)					
自己評価	評価	評価理由(施策効果の状況や今後の方向性などについて記載)			
職員	4	生涯学習はもとより、地域まちづくりの拠点として、地域住民・地域団体・利用団体等との連携に努めているとともに利用者の不都合が生じないよう、多目的ホールの音響設備や新たに2階に手摺を設置するなど安全で快適な利用環境の確保に努めた。			
内部評価	評価	評価に関する意見			
運営協議会委員	4	地域の社会教育、交流及びまちづくりの拠点として親しみのある信頼される公民館活動を行っている。また、少子高齢化に向け、誰もが楽しめる多くの事業を推進し、笑顔の絶えない公民館活動が定着するとともに利用者団体と連携し、絵画や写真、絵手紙等を定期的に館内に掲示し環境整備に努めている。今年度(30年度)は、学区内のこども園、小学生、中学生による「こども延命絵画展」の展示を行い好評であった。今後とも地域に根ざした公民館としての活動を支援したい。			
外部評価	評価				
社会教育委員	4	防災・減災の取り組みは地域団体との連携を深め、公民館の大きな特色として位置付けられる。公民館利用者数が増加しているが、施設の維持管理・改善などへの職員の努力が成果として現れたと考えられる。また、夏休み中の学習室開放の取り組みなど、公民館の有効活用に努めている点は評価できる。			

令和元年度(H30年度事業)公民館点検・評価シート

公民館名		秦野市立上公民館					
職員数		8名 (内訳) 再任用職員 1名 特定職員 4名 図書室 3名					
対象エリア		面積	12.0km ²	人口	2千人		
施設	開館年度	平成5年度		構造	RC造2階建		
	延床面積	859.54m ²		敷地面積	1176.16m ²		
	室名	■調理室 ■創作活動室 ■和室 ■多目的ホール ■会議室					
【単位:千円】		28年度 決算額	29年度 決算額	30年度 決算額	31年度 予算額	備考	
収入	施設使用料	698	1,035	1,148	1,140		
	前年度比	-6.6%	48.3%	10.9%	-0.7%		
	参加者負担金	34	42	28	30		
	前年度比	6.3%	23.5%	-33.3%	7.1%		
	軽印刷その他雑入	74	96	75	76		
	前年度比	-3.9%	29.7%	-21.9%	1.3%		
	計	806	1,173	1,251	1,246		
支出	活動費(0101)	157	156	143	159		
	維持管理費(0102)	5,543	7,142	6,900	6,216		
	事務費 (0103)	人件費	8,328	8,238	8,337	9,967	
		その他	437	1,573	1,398	371	
	計	14,465	17,109	16,778	16,713		
	前年度比	11.7%	18.3%	-1.9%	-0.4%		
	営繕工事費(0200)	1,373	0	0	0		
利用状況等	指標名		28年度 実績値	29年度 実績値	30年度 実績値	31年度 目標値	備考
	利用 状況	利用者数	16,660	16,383	15,032	16,000	
		利用件数	1,388	1,311	1,172	1,300	
		利用日率	50.2%	47.5%	42.6%	50.0%	
		コマ稼働率	18.2%	16.8%	13.9%	18.0%	
		事業日数	89	87	82	123 <small>(展示の一部を含む)</small>	
		参加者数	3,812	3,703	3,472	3,800	
	図書 室	利用者数	1,540	1,502	1,397	1,500	
	連絡所	住民票等取扱件数	1,082	1,140	1,102	-	
	その他	納税取扱件数	1	12	10	-	
30年度方針		地域の拠点施設として、地域住民・地域団体・利用団体等との連携を図り、社会教育の充実と地域の活性化に向けた共催型・協働型の各種事業を実施する。					
前年度改善事項		公民館施設の見直しを行い、経年劣化した設備から順次修繕を行うために予算要望を行った。					

事業の評価項目		自己評価	内部評価	外部評価	自己評価の主な理由
公民館運営について	公民館の運営方針を明確にしているか	4			地域住民・利用団体等との連携のもと、共催型・協働型の各種事業の展開を運営方針とする。
	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	4			運営協議会や利用者懇談会等の意見を踏まえ、公平・公正な運営に努めている。
	点検評価の結果を公表しているか	4			市のホームページで公開している。
	公民館運営協議会は主体的な活動をしているか	4			運営協議会委員は、利用者である委員が多く、公民館の事業に積極的に参加、意見をいただいている。
	公民館職員の研修機会を確保しているか	4			県、市等が開催する研修会に積極的に参加させている。(ホームページ作成、接遇、初任者研修)
	公民館運営協議会委員の研修機会を確保しているか	3			公民館運営審議会委員等研修会への参加を呼びかけている。
	公民館の運営全般が住民に発信されているか	4			館報、広報紙、ホームページにより情報提供に努めている。
	評価	4	4	4	
まちづくり・学習の拠点について	まちづくりの課題把握はされているのか	3			市、まちづくり委員会、地域団体等からの情報把握に努める。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	4			関係団体で構成する実行委員会やボランティア等の協力により、事業を開催している。(公民館祭り、七夕、ひなまつり等)
	生活・現代的課題や地域課題に関する講座を実施しているか	3			高齢者や子育て支援などを意識して事業を展開している。
	地域の学校などと連携しているか	5			幼稚園(各事業への参加)、小学校(かみ子ども放課後教室)との連携により事業を実施している。
	関係行政機関、関係団体と連携協力はできているか	5			公民館まつり、放課後子ども教室等の実施において、学校、自治会、青少年育成部会等の連携協力を得ている。
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	3			講座参加者の満足度の向上に努め、社会参加の意識の醸成を図っている。
	学習・地域活動グループ相互の連携が図られているか	4			放課後子ども教室において小学校と地域住民が連携して子供たちを育成する事業を展開している。
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	3			隔月発行の館報やホームページを通じて情報を提供している。
	評価	4	4	4	
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	4			利用者の意見を伺いながら運営しているので概ね満足していただいていると考える。
	利用者への対応は適切か	4			利用者の要望に応えながら公平・公正に対応している。
	住民が気軽に立ち寄れる環境ができているか	4			積極的なあいさつ、声掛けを始め、館内の清掃、整理整頓等、住民が親しみやすい環境づくりを実施。
	ロビーワークなどによる関係づくりはなされているか	4			七夕のさき飾りや、ひな人形の展示など、四季折々の事業を実施することで利用者に好評を得ている。
	図書室は機能しているか	4			図書の貸出業務以外に利用者とは気軽なコミュニケーションを図ることにより、住民の憩いの場となっている。
	施設・設備は整備されているか	3			設備等の保守点検等により、利用環境の確保に努めているが十分とはいえない状況と考える。
評価	4	4	4		

評価: 5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)

自己評価	評価	評価理由(施策効果の状況や今後の方向性などについて記載)
職員	4	概ね計画通りの施設運営が図られているが、地域の活性化が大きな課題となる中で、公民館がその拠点施設としての役割を期待されており、地域住民・地域団体・利用団体等とのなお一層の連携に努めていきたい。
内部評価	評価	評価に関する意見(案)
運営協議会委員	4	公民館まつり、放課後子ども教室、ひなまつりなど、地域が一体となった事業が展開されている。しかしその一方で公民館利用が減少傾向にあり、地域の活性化の観点からも工夫・改善を図り魅力ある公民館運営に努められることを期待します。
外部評価	評価	評価に関する意見
社会教育委員	4	市で最も人口が少なく人口減少が進む地域の中で、拠点としての公民館の役割は大きい。「放課後子ども教室」など、地域の諸団体や協力者が一体となって公民館事業に貢献している点が評価できる。しかし、公民館利用者や、公民館事業数は減少傾向にあり、職員のさらなる工夫と努力に期待する。

令和元年度(平成30年度事業)公民館点検・評価シート

公民館名		秦野市立渋沢公民館					
職員数		8名 (内訳) 再任用職員 1名 特定職員 4名 図書室 3名					
対象エリア		面積	7.0km ²	人口	18千人		
施設	開館年度	平成7年度		構造	RC造地上2階地下1階建		
	延床面積	1,467.15m ²		敷地面積	2,270.70m ²		
	室名	■調理室 ■創作活動室 ■音楽室 ■和室 ■集会室 ■多目的ホール					
【単位:千円】		28年度 決算額	29年度 決算額	30年度 決算額	31年度 予算額	備考	
収入	施設使用料	1,924	2,007	2,672	2,510		
	前年度比	3.3%	4.3%	33.1%	-6.1%		
	参加者負担金	66	56	58	63		
	前年度比	73.7%	-15.2%	3.6%	8.6%		
	軽印刷その他雑入	233	274	322	228		
	前年度比	-14.3%	17.6%	17.5%	-29.2%		
	計	2,223	2,337	3,052	2,801		
支出	活動費(0101)	165	201	179	190		
	維持管理費(0102)	7,734	6,428	7,280	7,004		
	事務費 (0103)	人件費	8,273	8,892	9,084	9,968	
		その他	453	549	434	428	
	計	16,625	16,070	16,977	17,590		
	前年度比	18.5%	-3.3%	5.6%	3.6%		
	営繕工事費(0200)	0	0	0			
利用状況等	指標名		28年度 実績値	29年度 実績値	30年度 実績値	31年度 目標値	備考
	利用 状況	利用者数	35,539	36,003	33,521	35,000	
		利用件数	2,715	2,646	2,509	2,600	
		利用日率	69.2%	68.3%	68.7%	70.0%	
		コマ稼働率	26.0%	24.5%	21.6%	24.0%	
	事業	事業日数	129	131	149	140	
		参加者数	3,797	5,510	5,179	5,400	
	図書 室	利用者数	7,208	6,315	6,030	6,500	
	連絡所	住民票等取扱件数	2,664	2,554	2,462	2,500	
	その他	納税取扱件数	5	1	13	6	
30年度方針		渋沢公民館の立地条件、住宅地と里地、渋沢丘陵など、地域特性と季節感を持たせるなど、地域と連携し、利用者のニーズを汲んだ事業を行い、子どもから高齢者まで、わくわくして来館しいきいきできる公民館を目指します。					
前年度改善事項		公民館を気持ちよく使っていただけるよう、今まで以上に利用者へのあいさつや、親切・丁寧な対応など、気持ち良い公民館となるよう努めた。					

事業の評価項目		自己評価	内部評価	外部評価	自己評価の主な理由
公民館運営について	公民館の運営方針を明確にしているか	4			地域の特性を生かした事業を展開している。
	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	4			公民館運営協議会の意見ばかりでなく、利用者の意見を直接聴いて反映させている。
	点検評価の結果を公表しているか	3			市ホームページで公開している。
	公民館運営協議会は主体的な活動をしているか	3			年2回開催した。
	公民館職員の研修機会を確保しているか	4			情報交換、OJT等とともに自己研さんしている。
	公民館運営協議会委員の研修機会を確保しているか	4			情報提供している。
	公民館の運営全般が住民に発信されているか	4			ホームページで周知している。
	評価	4	4	3	
まちづくり・学習の拠点について	まちづくりの課題把握はされているのか	4			地域団体と連携し、地域のニーズを把握して地域課題に取り組んでいる。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	4			ホームページで募集するとともに、公民館まつり等では実行委員会を組織し、事業を行っている。
	生活・現代的課題や地域課題に関する講座を実施しているか	4			ホットサロン等で、高齢者の健康維持など事業を行っている。
	地域の学校などと連携しているか	5			小学生の学校外事業の受け入れや、公民館祭りへのこども園園児の参加がある。
	関係行政機関、関係団体と連携協力はできているか	4			子どもを育む協議会等を通じ連携を図っている。
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	4			ボランティア講師等の登用に役立っている。
	学習・地域活動グループ相互の連携が図られているか	4			公民館祭り、公民館事業等で連携が図られている。
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	3			ホームページの随時更新、館内掲示等により啓発を図っている。
	評価	4	4	4	
	施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	4		
利用者への対応は適切か		4			利用者へのあいさつ、声掛けを積極的に行い、利用者が親しみやすい雰囲気づくりに取り組んでいる。
住民が気軽に立ち寄れる環境ができているか		4			利用者へのあいさつ、声掛けを積極的に行い、利用者が親しみやすい雰囲気づくりに取り組んでいる。
ロビーワークなどによる関係づくりはなされているか		4			各団体との交流等に努めている。
図書室は機能しているか		4			幅広い層に利用されている。利用者参加の壁面飾り(季節)を実施している。
施設・設備は整備されているか		4			利用者が安全安心に利用できるよう努めている。
評価	4	4	4		
評価: 5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)					
自己評価	評価	評価理由(施策効果の状況や今後の方向性などについて記載)			
職員	4	地域の特性を生かした事業、地域の課題解決のための関係機関との協力など、子どもから高齢者まで、いきいきできる公民館としたい。			
内部評価	評価	評価に関する意見			
運営協議会委員	4	引き続き、渋沢公民館らしい地域の特性を活かした事業を継続し、地域コミュニティの中心施設として魅力ある公民館運営に努め、更なる活動の充実を図るとともに、公民館機能を発揮するよう期待します。			
外部評価	評価	評価に関する意見			
社会教育委員	4	住宅地と里地、渋沢丘陵など公民館の立地条件を生かした事業展開を行っている点は評価できる。事業日数は増えているものの参加者数が減少していることを考慮し、さらに工夫をする必要がある。また、点検評価はより具体的に記入することにより改善点が明確となる。一步前進することを期待する。			

令和元年度(30年度事業)公民館点検・評価シート

公民館名		秦野市立本町公民館					
職員数		8名 (内訳) 再任用職員 1名 特定職員 4名 図書室 3名					
対象エリア		面積	6.0km ²	人口	21千人		
施設	開館年度	平成8年度		構造	RC造2階建		
	延床面積	1,613.58m ²		敷地面積	1,500.25m ²		
	室名	■調理室 ■創作活動室 ■音楽室 ■和室 ■集会室 ■多目的ホール					
【単位:千円】		28年度 決算額	29年度 決算額	30年度 決算額	31年度 予算額	備考	
収入	施設使用料	3,344	3,658	4,674	5,210		
	前年度比	-11.7%	9.4%	27.8%	11.5%		
	参加者負担金	48	46	84	47		
	前年度比	-37.7%	-4.2%	82.6%	-44.0%		
	軽印刷その他雑入	504	498	516	519		
	前年度比	-3.8%	-1.2%	3.6%	0.6%		
	計	3,896	4,202	5,274	5,776		
支出	活動費(0101)	1,457	582	630	430		
	維持管理費(0102)	7,984	8,176	9,203	8,832		
	事務費 (0103)	人件費	9,851	8,968	9,260	9,852	
		その他	586	766	444	583	
	計	19,878	18,492	19,537	19,697		
	前年度比	17.9%	-7.0%	5.7%	0.8%		
	営繕工事費(0200)	16,437	18,040	2,165	0		
利用状況等	指標名		28年度 実績値	29年度 実績値	30年度 実績値	31年度 目標値	備考
	利用 状況	利用者数	84,723	82,914	76,806	85,000	利用団体の高齢化等の影響か
		利用件数	5,509	5,275	4,917	5,600	同上
		利用日率	91.8%	90.4%	89.5%	92.0%	
		コマ稼働率	47.9%	44.6%	42.1%	50.0%	
	事業	事業日数	87	103	49	50	新規自主事業を9事業立ち上げ
		参加者数	3,103	3,056	3,842	4,000	
	図書 室	利用者数	12,996	11,600	11,927	13,000	
	連絡所	住民票等取扱件数					
	その他	納税取扱件数	39	26	11		
30年度方針		新規事業の企画検討を行い、公民館事業の活性化を推進するとともに、利用者が使いやすい施設環境の向上を図る。					
前年度改善事項		<ul style="list-style-type: none"> ・公民館敷地内の果樹を利用し、ジュースやジャム作りの事業を展開した。 ・秦野市に関わる人物(三浦乾也・梶山良助)の工芸品などの展示や古くから伝わる雛人形の展示とお香の体験を合体した講座を開催するなど独特な新規事業を展開した。 					

事業の評価項目		自己評価	内部評価	外部評価	自己評価の主な理由
公民館運営について	公民館の運営方針を明確にしているか	3			中長期な視点から運営方針を定め、毎年、実現可能な目標を掲げている。
	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	3			利用者説明会や講座アンケート等により、住民の意向を把握し、事業に反映できるよう努めている。
	点検評価の結果を公表しているか	4			ホームページに公表している。
	公民館運営協議会は主体的な活動をしているか	4			公民館運営協議会を年3回開催し、委員の要望等を取り入れた公民館運営を展開している。
	公民館職員の研修機会を確保しているか	4			市開催の研修会に参加し、月1回全職員で情報交換や課題解決に向けた取り組みを話し合っている。
	公民館運営協議会委員の研修機会を確保しているか	4			神奈川県公民館連絡協議会主催の研修会に参加した。
	公民館の運営全般が住民に発信されているか	3			公民館だよりを組回覧し、ホームページやポスターにより情報提供している。
	評価	4	4	4	
まちづくり・学習の拠点について	まちづくりの課題把握はされているのか	3			地区懇談会に出席したり、利用団体や地域住民等からの情報により、課題の把握に努めている。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	4			公民館発表会や自主事業を開催する際には、実行委員会を組織し、事業運営に携わっている。
	生活・現代的課題や地域課題の関する講座を実施しているか	3			親子、小学生、高齢者等の課題把握が難しく、これに対応した講座がなかなか進んでいない。
	地域の学校などと連携しているか	4			公民館運営協議会委員の参加及び学校の公民館見学・公民館事業への参加など、連携を図っている。
	関係行政機関、関係団体と連携協力はできているか	3			市の中心的な公民館として、関係行政機関や関係団体との連携、協力を図っている。
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	4			利用団体の学習成果を公民館発表会や、展示コーナーでの展示により、来館者に披露している。
	学習・地域活動グループ相互の連携が図られているか	3			公民館発表会や童謡講座などの事業を通して、関係団体相互の連携を図っている。
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	3			ホームページやポスターにより情報を提供すると共に、公民館だよりを年6回発行し情報提供している。
評価	3	4	3		
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	3			利用者や地域住民等からの、要望や提案等に出来るだけ迅速に対応するように努めている。
	利用者への対応は適切か	4			利用者が気持ちよく利用できるよう、親切丁寧で公平な対応に努めている。
	住民が気軽に立ち寄れる環境ができていますか	4			利用者目線の窓口対応を始め、施設環境の向上を図り、気軽に立ち寄れる環境作りに努めている。
	ロビーワークなどによる関係づくりはなされているか	4			来館者との情報収集活動を積極的に行い、公民館運営の参考としている。
	図書室は機能しているか	4			図書室職員のレファレンス(本の紹介等の援助)により、利用者の向上に努めている。
	施設・設備は整備されているか	3			利用者が安全に安心して利用できるよう、施設整備を心がけている。
	評価	4	4	4	
評価：5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)					
自己評価	評価	評価理由(施策効果の状況や今後の方向性などについて記載)			
職員	4	本町公民館は利便性が良く利用団体が多い中で、公民館独自の新規事業を9事業開催するなど、公民館事業の活性化を図り、まずまずの好評を得た。今後も利用者ニーズを把握し、様々な事業を展開しながら活気ある公民館運営を推進する。			
内部評価	評価	評価に関する意見			
運営協議会委員	4	秦野に関連する人物の歴史的な展示をするなど評価できる。また、幼少学校との交流事業や高齢者等へ事業を積極的に開催するなど、学習機会の向上を図る事業が評価できる。窓口対応も良く利用しやすい環境作りに努力している。			
外部評価	評価	評価に関する意見			
社会教育委員	4	市の中心に位置し、来館者が多く大変な点も理解できるが、接客サービスに関する取り組みをさらに整備されたい。公民館運営にあたり、館長が先頭に立ち、努力しており、事業参加者数の増加は評価できる。立地条件からも一番目立つ公民館なので、ロビーの整備・有効活用なども期待する。			

令和元年度(30年度事業)公民館点検・評価シート

公民館名		秦野市立南が丘公民館					
職員数		8名 (内訳) 再任用職員 1名 特定職員 4名 図書室 3名					
対象エリア		面積	3.0km ²	人口	13千人		
施設	開館年度	平成9年度		構造	RC一部鉄骨造地上2階地下1階建		
	延床面積	1,490.48m ²		敷地面積	2,752.63m ²		
	室名	■調理室 ■創作活動室 ■音楽室 ■和室 ■集会室 ■セミナー室 ■多目的ホール					
【単位:千円】		28年度 決算額	29年度 決算額	30年度 決算額	31年度 予算額	備考	
収入	施設使用料	2,659	2,714	3,491	3,550		
	前年度比	4.4%	2.1%	28.6%	1.7%		
	参加者負担金	30	20	11	29		
	前年度比	50.0%	-33.3%	-45.0%	163.6%		
	軽印刷その他雑入	370	298	274	355		
	前年度比	11.1%	-19.5%	-8.1%	29.6%		
	計	3,059	3,032	3,776	3,934		
支出	活動費(0101)	196	204	143	205		
	維持管理費(0102)	9,088	7,529	7,379	9,488		
	事務費 (0103)	人件費	8,384	8,867	9,558	9,969	
		その他	443	428	376	493	
	計	18,111	17,028	17,456	20,155		
	前年度比	7.1%	-6.0%	2.5%	15.5%		
	営繕工事費(0200)	0	26,625	0	3,050	平成31年度高圧引込み設備等更新工事	
指標名		28年度 実績値	29年度 実績値	30年度 実績値	31年度 目標値	備考	
利用 状況	利用 状況	利用者数	58,031	54,506	50,626	55,000	
		利用件数	4,365	4,235	3,829	4,300	
		利用日率	83.4%	80.2%	76.9%	81.0%	
		コマ稼働率	36.4%	33.0%	29.0%	33.0%	
事業	事業	事業日数	112	116	76	80	展示日数を除いたため
		参加者数	6,046	5,545	5,419	5,500	
図書 室	図書 室	利用者数	11,967	9,536	9,300	9,600	
連絡所	住民票等取扱件数	4,376	4,242	4,002	4,300		
その他	納税取扱件数	28	23	5	-		
30年度方針		地域における生涯学習及び地域活動の拠点として、地域との連携を図るとともに、小・中・高などの教育機関及びその他の関係機関と連携した活動に取組み、子どもたちの健全育成を図るとともに、避難所として十分に機能するように努める。					
前年度改善事項		多目的ホールの音響設備の修繕や多目的トイレ自動ドア修繕等を行い、施設の利用環境の向上に努めた。					

事業の評価項目		自己評価	内部評価	外部評価	自己評価の主な理由
公民館運営について	公民館の運営方針を明確にしているか	4			利用者説明会や様々な場面において方針を説明しており、平成30年度は中に2回避難所として利用。
	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	4			利用者や住民からの要望により、音響設備の一部更新を行うなど要望や提案等応えられるように努めた。
	点検評価の結果を公表しているか	4			市のホームページで公開しています。また、要望があれば利用者にも説明をさせていただきます。
	公民館運営協議会は主体的な活動をしているか	4			公民館運営協議会を2回開催、平成30年度で閉園する南が丘幼稚園の進捗状況の確認や公民館使用料改定後の施設の利用状況について説明し、意見等伺った。
	公民館職員の研修機会を確保しているか	3			防火管理者研修(館長)、接遇研修等研修、システム操作研修等に参加した。
	公民館運営協議会委員の研修機会を確保しているか	3			地域の課題・使用料改定後の施設の利用状況について情報提供や情報交換を実施するとともに、県公連主催等の研修に館長が参加し公民館の避難所のあり方等の情報提供を行った。
	公民館の運営全般が住民に発信されているか	4			年6回の館報(組回覧)、年4回翔丘(幼稚園、小・中・高等学校、公民館の広報紙)、ホームページなどにより、定期的な情報提供を行っています。
評価	4	4	4		
まちづくり・学習の拠点について	まちづくりの課題把握はされているのか	4			南が丘中学校区豊かな心を育む協議会や南地区まちづくり委員会総会等に参加し、地域の課題の把握に努めています。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	5			地域のボランティアとの協働により、「元気っ子クラブ」事業の企画、運営を行っている。(会員64名)
	生活・現代的課題や地域課題の関する講座を実施しているか	3			親子、小学生、高齢者、障害者の学習を地域課題とし、関係団体との協働で実施している。
	地域の学校などと連携しているか	4			公民館まつりや丘のふれあい音楽祭等の公民館事業を通じ幼・小・中・高の教育機関と連携を図っている。
	関係行政機関、関係団体と連携協力はできているか	4			地域の教育機関、子ども会、利用団体、高齢者支援センター等との連携協力を進めている。
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	3			参加者の教養として講座内容が身に付き、学習成果は上がっている。利用団体による地域イベント等への参加等。
	学習・地域活動グループ相互の連携が図られているか	3			関係団体や地域住民等と協働した活動を進めることで相互の連携が図られている。
幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	4			公民館利用団体情報を冊子としてまとめ、学習機会を求めている方の学習相談に応じている。また、団体と参加希望者との橋渡しをしている。	
評価	4	4	4		
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	4			利用者説明会を年1回(4月)に開催。利用者や地域住民等からの、要望や提案等に応えられるように努めている。
	利用者への対応は適切か	4			利用者への積極的な挨拶、声かけに心がけ、利用者が親しみやすい雰囲気づくりに取り組んでいる。
	住民が気軽に立ち寄れる環境ができているか	4			利用団体の会員募集や行政情報等を展示・掲示するなど、利用者が親しみやすい施設環境づくりに取り組んでいる。
	ロビーワークなどによる関係づくりはなされているか	3			利用団体や地域団体、学校等の関係機関との良好な関係が持てるように努めた。
	図書室は機能しているか	4			図書室企画事業を2事業を実施している。利用者数は電子書籍の普及により減少傾向にあるが、市内の公民館の中でも利用者が多い分類に入っている。また昼休み中の来客者にも対応。
	施設・設備は整備されているか	4			利用者が安全・安心に使用できるよう、施設整備に努めている。平成30年度は公民館まつりに隣接公有地を臨時駐車場として活用した。
評価	4	4	4		
評価: 5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)					
自己評価	評価	評価理由(施策効果の状況や今後の方向性などについて記載)			
職員	4	地域の様々な団体等の協力により、公民館まつり等の事業を行うことができた。また、公民館まつりにおいて隣接する公有地を臨時駐車場として活用できたが、雨天時にぬかるみが生じるなど今後の利用について課題も発見できた。			
内部評価	評価	評価に関する意見			
運営協議会委員	4	南が丘公民館で行われている元気っ子クラブ(64名)の活動が、他の公民館でも始まり活動が評価されている。地域の子ども会が減少の傾向がある中で、更に地域に広がるように活動を充実させていきたい。			
外部評価	評価	評価に関する意見			
社会教育委員	4	「元気っ子クラブ」の活動を中心に、コンスタントに地域との連携が図られている点は評価できる。ロビー・図書室・児童室には子どもたちの姿が多く見られるが、公民館の事業日数・参加者数が減少傾向にあり、さらに努力・工夫が必要である。			

令和元年度(30年度事業)公民館点検・評価シート

公民館名		秦野市立堀川公民館					
職員数		8名 (内訳) 再任用職員 1名 特定職員 4名 図書室 3名					
対象エリア		面積	1.0km ²	人口	6千人		
施設	開館年度	平成16年度		構造	RC2階建		
	延床面積	1,496.48m ²		敷地面積	2,430.76m ²		
	室名	■調理室 ■創作活動室 ■音楽室 ■和室 ■集会室 ■多目的ホール					
【単位:千円】		28年度 決算額	29年度 決算額	30年度 決算額	31年度 予算額	備考	
収入	施設使用料	2,931	3,328	3,961	4,250		
	前年度比	-4.5%	13.5%	19.0%	7.3%		
	参加者負担金	87	65	69	86		
	前年度比	27.9%	-25.3%	6.2%	24.6%		
	軽印刷その他雑入	381	340	337	272		
	前年度比	-11.0%	-10.8%	-0.9%	-19.3%		
	計	3,399	3,733	4,367	4,608		
支出	活動費(0101)	240	200	221	238		
	維持管理費(0102)	8,216	8,811	8,423	8,350		
	事務費 (0103)	人件費	8,504	9,157	9,351	9,968	
		その他	527	491	462	489	
	計	17,487	18,659	18,457	19,045		
	前年度比	11.3%	6.7%	-1.1%	3.2%		
	営繕工事費(0200)	0	0	0	0		
利用状況等	指標名		28年度 実績値	29年度 実績値	30年度 実績値	31年度 目標値	備考
	利用 状況	利用者数	55,813	54,595	49,847	49,000	
		利用件数	4,436	4,383	4,175	4,000	
		利用日率	86.9%	86.5%	84.5%	84.0%	
		コマ稼働率	42.7%	41.9%	38.1%	38.0%	
	事業	事業日数	100	101	125	110	
		参加者数	5,075	5,162	5,199	5,100	
	図書 室	利用者数	7,530	7,116	6,847	6,800	
	連絡所	住民票等取扱件数	3,964	3,861	3,770	—	
	その他	納税取扱件数	19	18	11	—	
30年度方針		地域との連携を図り、地域に根ざした公民館を目指す。 学習意欲の向上や学習活動の奨励のために、引き続き学習成果が活用される場の提供に努める。					
前年度改善事項		利用団体の活動成果を発表する場として、ジャンルごとに5月・7月・9月・2月の4回に分けて展示会を開催したが、5月に参加した団体から展示スペースが少ないとの意見があったため、5月の展示会を前期と後期に分けて実施した。					

事業の評価項目		自己評価	内部評価	外部評価	自己評価の主な理由
公民館運営について	公民館の運営方針を明確にしているか	5			運営方針を作成しており、館内に掲示するとともにホームページに掲載して周知を図った。
	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	4			公民館運営協議会及び利用者説明会での意見・要望や講座アンケート調査結果を運営に生かした。
	点検評価の結果を公表しているか	3			公民館運営協議会に報告するとともにホームページに掲載した。
	公民館運営協議会は主体的な活動をしているか	3			公民館運営協議会を年2回開催し、自主事業についての協議及び内部評価を行った。
	公民館職員の研修機会を確保しているか	4			県公連の研修会への参加(館長)、職場内研修の実施、施設予約システム操作研修会への参加(新採用職員)
	公民館運営協議会委員の研修機会を確保しているか	3			公民館運営協議会委員に県公連が開催する研修会の情報提供をした。
	公民館の運営全般が住民に発信されているか	4			広報、館内の掲示板、ホームページ、利用者説明会により情報発信した。小学生の職場見学を受け入れた。
	評価	4	5	5	
まちづくり・学習の拠点について	まちづくりの課題把握はされているのか	4			地区懇談会、子どもを育む協議会、小学校運営協議会、公民館運営協議会において情報を収集した。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	3			利用団体の方が講座の講師を務めたり、複数の団体により組織された実行委員会が企画運営した事業がある。
	生活・現代的課題や地域課題に関する講座を実施しているか	4			子ども、親子、シニアを対象とした講座や里山めぐりハイキング等の環境講座を実施した。
	地域の学校などと連携しているか	4			幼稚園の行事受入れ、小学校運営協議会や子どもを育む協議会への参加など連携を図った。
	関係行政機関、関係団体と連携協力はできているか	3			自治会等から公民館運営協議会の委員に参加している。子どもを育む協議会を通して関係団体と連携を図った。
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	4			利用団体がコンサート、展示会に参加した。一部、ボランティア講師として事業運営に活用した。
	学習・地域活動グループ相互の連携が図られているか	4			バレンタインコンサート開催にあたり、実行委員会を組織して利用団体相互の連携を図った。
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	3			ホームページや館内掲示板等により情報提供を行うとともに活動団体等の紹介をした。
評価	4	4	4		
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	4			利用者から指摘、要望があれば、可能な範囲で迅速に対応した。
	利用者への対応は適切か	5			来館者への挨拶を徹底し、気持ち良く利用できるような心がけた。窓口では、親切・丁寧・公平な対応をした。
	住民が気軽に立ち寄れる環境ができているか	4			館内の環境美化に配慮するとともに来館者に積極的に声かけを行い、気軽に立ち寄れる環境づくりに努めた。
	ロビーワークなどによる関係づくりはなされているか	4			窓口においてロビーワークに努め、来館者との対話を図った。
	図書室は機能しているか	4			ホームページにおすすめ本を毎月掲載したり、図書室前に新刊本を配架するなど読書活動を推進した。
	施設・設備は整備されているか	5			定期的な設備の点検を行い、安全に利用できるよう努めている。
評価	4	5	5		

評価：5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)

自己評価	評価	評価理由(施策効果の状況や今後の方向性などについて記載)
職員	4	ボランティア講師の発掘に努めた結果、新たに8講座を実施することができた。そのうち4講座が、受講者によるサークル活動に移行することになった。また、施設利用について、利用者が気持ち良く利用できるよう快適な環境の維持に努めたい。
内部評価	評価	評価に関する意見
運営協議会委員	5	講師の発掘に努め、新たな講座を開催することによりサークル活動の立ち上げを支援するとともに、継続した活動ができるよう取り組んでいることは評価できる。また、利用団体が日頃の活動成果を発表できる場が多く提供されており、積極的な活動に繋がっている。館内は明るく、きれいで雰囲気も良いので、今後も快適な利用環境を維持してほしい。
外部評価	評価	評価に関する意見
社会教育委員	5	利用率が高く地域の学習拠点として大きな役割を果たしている。ボランティア指導者の発掘についても積極的に努力されていることが評価できる。市内公民館の中でも一番新しく、施設もきれいなので、今後も維持管理に努めてもらいたい。